

# 語り継ぎたい、岐阜県の空襲

「空襲とくくと、どこか遠い場所のできた出来事のように感じていませんか？実は、私たちの住む岐阜県も空襲に見舞われ、多くの尊い命が犠牲となりました。そして各地には戦争の跡や当時の資料が残されています。今回は「空襲体験を語りつくす大垣の会」の高木さんに、大垣空襲や当時の暮らしについてお聞きしました。また組合員さんがおすすめする戦争を学べる場所や書籍をご紹介します。

## 巻頭特集

### 大垣空襲

1945年、大型爆撃機B-29によって大垣城や軍需工場周辺を中心に6度にわたって空襲を受けました。なかでも7月24日、29日の空襲は、多くの犠牲者が出る大惨事となりました。原爆の投下訓練として実行されたと言われている場所もいくつかあるようです。

#### 大垣空襲体験者の証言

大型爆弾投下により、家屋はなぎ倒されました。犠牲者の遺体は、一時安置所の新善光寺へ運ばれ親族の引き取りを待ちました。間近で爆撃を受けバラバラになった身体を拾い上げてトラックに積みました。

子どもたちは、学校で勉強もできないまま軍需工場に動員され、軍事物資を生産しました。夜間は空襲に狙われないよう、電灯やローソクの使用を制限されたり、空襲に備えて防空壕を設置する家もありました。法律により爆弾投下時は、避難より消火活動を優先しなければならず、違反者は食料配給を受けられませんでした。周りの人がお互いを監視し、戦争への絶対的な協力が強いられる環境で、個人の思想の自由すら認められていませんでした。



防空壕に逃げ込もうとしたら、「よそ者は入るな、出て行け」と言われました。



B-29から黒い点が離れ、渦を巻きながらどんどん大きくなっていく。あっ、これは空襲だ！

### 平和を守るため 私たちができること

空襲体験を語りつくす大垣の会  
高木正二さん



地上には爆撃機の操縦者と同じ「人」が住んでいるのです。その場所を狙って、まるでゲームのように爆弾を投下するその感覚に恐怖を感じます。

戦後71年、人々や町に空襲が残した爪痕に直接触れる機会が少なくなりました。あの空襲を風化させないために空襲・戦争体験者も、戦後世代の方も、空襲の事実や平和の尊さをお互いに伝え、知り合うことが大切です。そして、平和を守る取り組みをこれからも続けていくこと。1つひとつの取り組みの積み重ねが、平和を守ることにつながると思っています。

### 大垣市の戦跡

**被爆地の跡**  
(大垣市高砂町1丁目)  
爆弾が投下された地には祈念碑が建てられ、碑の裏側には犠牲者10名の名前が刻まれています。



**鐘紡工場**  
(大垣市室村町3-74-1)  
当時、軍需用の毛布を製造していたレンガ造りの工場。



### 「空襲体験を語りつくす大垣の会」

大垣空襲について知りたいという声から結成し、今年で28年目を迎えます。毎年7月末に交流会を開催し、参加者の空襲体験や当時の大垣市の様子、人々の暮らしについて交流をしています。

最近では「空襲・戦争体験者の生の声が聞きたい」という若い方の参加も多く、平和への関心が高まっているように思っています。



お問い合わせは  
コープぎふ  
経営企画部まで  
058-370-6875

### 組合員さんが紹介する戦争を学べる場所

#### 多治見駅北 虎深用水広場

(多治見市音羽町1-70-4)



多治見市は1945年3月から終戦までに幾度も爆撃を受け、多くの人々が犠牲になりました。あのような戦争を繰り返さぬよう平和への願いを込めて祈念像が建立されました。

多治見空襲の紙芝居、DVD上映会の開催や募金活動を通して、空襲を後世に伝え続けること、そして祈念像を守っていくことが、多治見市民としての私の役割です。

多治見空襲祈念像建立委員会  
ミズノ ミコ  
水野 美恵子さん



#### 瑞浪市化石博物館 地下壕

(瑞浪市明世町山野内1-49)



第二次世界大戦末期につくられた、航空機製造の疎開工場の一部です。強制連行された朝鮮人と中国人が建設に関わり、重労働と栄養失調によって多数の死傷者が出ました。

#### 岐阜市平和資料室

(岐阜市橋本町1-10-23  
ハートフルスクエア1G2F)



1945年7月の岐阜空襲では800人を超える方が犠牲になりました。資料室には当時の町や人々の暮らしの様子、脅威を物語る遺品などが展示されています。

### 岐阜県内の空襲

岐阜県内も多くの地域が空襲による被害を受けました。



「岐阜市平和資料室資料より」

### 組合員さんに関いた 平和だと感じるとき

- ✿ 安心してあったかいお布団で寝られることや、子どもの寝顔に囲まれている時。  
(岐阜市じゅりあーにさん)
- ✿ 家族で揃って食事ができることなど、当たり前なことが当たり前のようにできる時。  
(羽島市さっちゃんママさん)
- ✿ 戦時中の本を読んだ時。途中辛くて読めなくなったりもしますが、読んだ後は自分の今の生活がどれほど幸せか思い知らされます。  
(中津川市いもちゃんさん)
- ✿ 日々、つつがなく1日が終わる時に、ありがたいなと感じます。しかし、世界が完全に平和になったことなど一度もないということを忘れてはいけないと思っています。  
(海津市棚橋さん)

### 組合員さんがおすすめする 戦争や平和に関する書籍

「戦争のつくりかた」  
著：りぼん・ぶるじえくと  
(出版社：マガジンハウス)

「こんなふうにする戦争ができる国になってしまう」ということが、子どもたちにもわかりやすいように書かれています。今の日本はまさにこの状態。ぜひみなさんに読んでいただきたいです。  
(本巣市 赤塚さん)



YouTubeにアニメーション動画もあります。

「はだしのゲン」全10巻  
著：中沢啓治 (出版社：汐文社)

息子が小学生のころ、全巻読んでいました。その時に、子どもと一緒に平和について考えた記憶があります。ぜひ読んでほしいです。  
(神戸町 ハッチさん)



#### 「火垂るの墓」

著：野坂昭如 (出版社：ポプラ社)

子どものころに読んで、とても感動したのを覚えています。いつ読んでも平和であることの幸せを改めて感じさせてくれるので、今でも大好きな話です。



(大垣市 TOMATOさん)

### コープぎふ平和憲章

私たちは「台所から平和を」を願い、命を守る平和の活動を進めます。

- 一 私たちは、一人ひとりの命を大切にします。
- 一 私たちは、子どもたちの笑顔を守ります。
- 一 私たちは、笑顔で食事ができるくらしを大切にします。
- 一 私たちは、お互いを認め合い助けあう心を大切にします。
- 一 私たちは、戦争の歴史を振り返り、真実を学んで伝えていきます。
- 一 私たちは、ヒロシマ・ナガサキを忘れず、核兵器廃絶を願います。

この平和憲章のもと、一人ひとりが考え、行動へつなげていきます。